



# 第11期報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成26年3月31日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード 6675

株 主 各 位

平成26年6月27日

東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー  
**サクサ ホールディングス株式会社**  
代表取締役社長 越川 雅生

## 第11回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第11回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

### 記

- 報 告 事 項
1. 第11期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第11期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)計算書類報告の件
- 本件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決 議 事 項

- 第1号議案 剰余金の配当の件
- 本件は、原案どおり承認可決されました。  
(期末配当は、1株につき3円と決定いたしました。)

- 第2号議案 取締役7名選任の件
- 本件は、原案どおりこしかわまさお まつなおき きむらひろし みながわただし おおさかみつく いけだけいぞう越川雅生、松尾直樹、木村廣志、皆川忠志、大坂貢およびいそふみひさ池田敬造の6氏が再任されたほか、新たに磯野文久氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
- なお、池田敬造氏は、社外取締役であります。

- 第3号議案 補欠監査役2名選任の件
- 本件は、原案どおりしみずたけなり いもりけんじ清水建成および飯森賢二の両氏が選任されました。

以 上



代表取締役社長 越川 雅生

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業年度のわが国の経済においては、政府の経済政策を背景とした株価の上昇や、企業収益の回復など景況感の改善が見られましたが、海外経済の不安定要因などにより先行きが不透明な中で推移いたしました。このような経済環境の中で、当企業グループは、「事業の拡大」と「経営基盤の強化」の諸施策に継続して取り組んでまいりましたが、新商品の市場浸透の遅れによる開発費負担の増加と、エネルギーコストの上昇や円安の進行による原材料価格の高騰などの要因により付加価値が減少し業績が悪化いたしました。

これらの事業環境および事業構造の変化に対応するために、当企業グループは、経営改善施策を策定し、事業の選択と集中を図り、当企業グループが目指す成長事業分野への経営資源の集中配分、開発リソースの有効活用、組織および要員の適正化、外部流出費用の徹底した削減に取り組む、収益の改善を図ってまいりました。

「事業の拡大」につきましては、成長戦略に沿って、コアコンピタンスである音声と情報通信を融合させた情報通信ネットワーク関連システムの展開と、これら商材とアプリケーションサービスを組み合わせさせたシステムインテグレーション事業の展開によりお客様が求めているシステムおよびサービスの提供を目指してまいりました。

- オフィス市場向けには、
  - ・ 音声と情報通信を融合させたキーテレホンシステム
  - ・ 安心かつ効率的な業務をサポートするアプリケーションサーバ

などの商品を情報セキュリティの強化や業務効率化および円滑なコミュニケーションを実現する「Office AGENT」シリーズとして提供を開始いたしました。

また、オフィスのIP環境を正確に把握し管理するサービス提供会社を共同で設立し、お客様のネットワークの運用状況を見える化するサービスの提供を進めてまいります。

- 社会インフラ市場向けには、
    - ・ 画像認識技術を活用した安全監視システム
    - ・ 環境の見える化や自治体向け見える化ソリューション
- などの商品およびサービスの提供を開始いたしました。

「経営基盤の強化」につきましては、従来から継続しております取組みに加えて、収益を改善するための経営改善施策として組織および要員の適正化や外部流出費用の徹底した削減に取り組んでまいりました。

当事業年度におきましては、厳しい事業環境の中、当期純損失の計上となりましたが、これらの取組みの結果として、下期経常損益は黒字転換いたしました。

売上高は、アミューズメント市場向け商品の減少はありましたが、キーテレホンシステムや加工受託の増加により431億3百万円(前期比 11.1%増)となりました。利益面では、売上高の増加や総原価低減の取組み効果はありましたが、為替変動の影響および開発費用の増加等により経常損失は5億9千1百万円(前期経常利益5億3千4百万円)となりました。また、経営改善施策に伴う費用等特別損失を3億2千3百万円計上し、当期純損失は4億5千9百万円(前期当期純利益3億8千万円)となりました。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

## 株式会社フォーバルと共同出資会社を設立！ ～IP環境を正確に把握し管理するサービスを提供～

サクサ株式会社（以下「サクサ」）と株式会社フォーバル（以下「フォーバル」）は中小規模オフィス向けに、サクサの持つキーテレホンシステムを主としたネットワーク活用技術とシステムインテグレーションのノウハウ、また、フォーバルの持つ「アイコンサービス」を主体とした経営コンサルティングサービス事業のノウハウといった両社の強みを連携させ、オフィスのIP環境を正確に把握し管理するサービスを提供することを目的に、共同出資による新会社、株式会社ネットリソースマネジメント（以下「NRM」）を平成25年12月に設立いたしました。

NRMが提供するサービスは、サクサが開発、製造および販売してきたキーテレホンシステムの設置時の現地調査、また、フォーバルがこれまでコンサルタントによるヒアリングや調査にそれぞれ頼っていたお客様のIP環境の状態を正確に把握し、各種アラート情報を自動生成することで、リアルタイムでの管理および対処が可能になるものです。

また、お客様にもそれらの情報がタイムリーに届くことで、IP機器を継続して安心・安全に利用することが可能になり、お客様の満足度向上にも繋がるサービスです。

## システムインテグレーション事業の拡大への取組み ～通信事業者向けVoIPソリューションの提供～

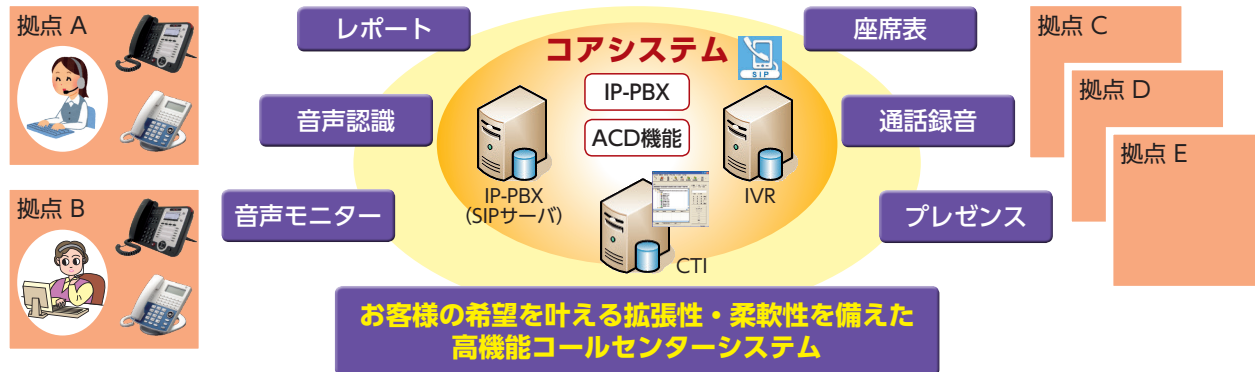
サクサグループは、システムインテグレーション事業の拡大の取組みとして、グループSI機能の連携強化および株式会社ネクストジェンとの協業体制の強化によるVoIPソリューションを主体としたシステムインテグレーション事業を展開しております。

その取組みの成果として、大手通信キャリア様のコールセンターに採用され、サクサグループがインテグレーションから保守までを一括請負し、多拠点へ展開しています。

このコールセンターシステムの特長は、SIPサーバにさまざまなアプリケーションを連携させ、柔軟にカスタマイズできる多機能音声プラットフォームであることです。

今後も、VoIPソリューションのさらなる展開を進めるとともに、日本マイクロソフト株式会社との協業によるクラウドサービスやスマートフォンを活用した自治体向けおよび環境の見える化ソリューションなどを展開し、システムインテグレーション事業の拡大を目指してまいります。

### ●サービスイメージ



# 連結財務諸表(要約)

## ●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成25年3月期)	当期末 (平成26年3月期)
(資産の部)		
流動資産	23,679	23,352
固定資産	19,831	19,148
有形固定資産	10,985	10,563
無形固定資産	4,983	4,284
投資その他の資産	3,862	4,299
繰延資産	31	27
資産合計	43,541	42,529
(負債の部)		
流動負債	11,929	11,353
固定負債	8,230	8,161
負債合計	20,159	19,515
(純資産の部)		
株主資本	23,033	22,396
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	7,339	6,703
自己株式	△1,165	△1,166
その他の包括利益累計額	199	457
少数株主持分	149	160
純資産合計	23,381	23,014
負債純資産合計	43,541	42,529

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成25年3月期)	当期 (平成26年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,929	1,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,911	△2,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	240	142
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△740	7
現金及び現金同等物の期首残高	6,921	6,181
現金及び現金同等物の期末残高	6,181	6,188

※連結財務諸表の各数値については、表示単位未満を切捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成25年3月期)	当期 (平成26年3月期)
売上高	38,792	43,103
売上原価	28,750	34,468
売上総利益	10,041	8,635
販売費及び一般管理費	9,483	9,181
営業利益又は営業損失(△)	558	△545
営業外収益	431	402
営業外費用	455	448
経常利益又は経常損失(△)	534	△591
特別利益	116	9
特別損失	109	323
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	541	△906
法人税等	150	△457
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	390	△448
少数株主利益	10	11
当期純利益又は当期純損失(△)	380	△459

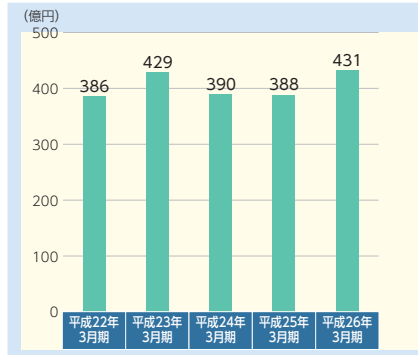
## ●連結包括利益計算書

(単位:百万円)

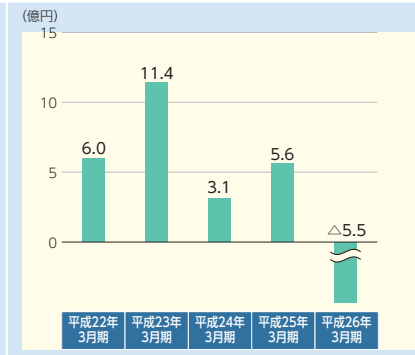
科目	前期 (平成25年3月期)	当期 (平成26年3月期)
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	390	△448
その他の包括利益	199	418
包括利益	590	△29

## 連結業績ハイライト

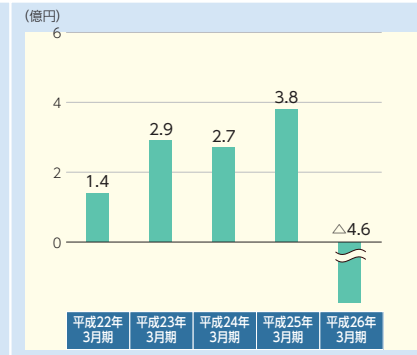
### 売上高



### 営業利益



### 当期純利益



※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

## 企業情報

### ● サクサ ホールディングス株式会社 (平成26年3月31日現在)

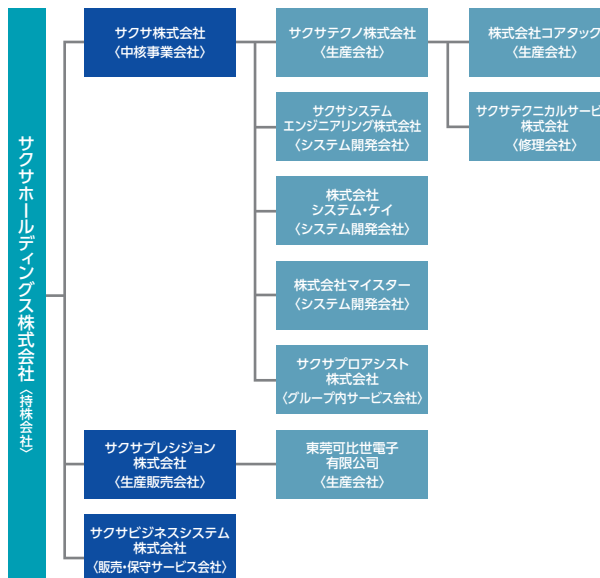
**設立年月日** 平成16年2月2日  
**資本金** 10,836,678,400円  
**従業員数** 1,316名(連結)  
 21名(単独)  
**本社** 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー  
**事業内容** 情報通信システムの機器および部品の開発、  
 製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

#### 取締役および監査役 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長	越川雅生	取締役	畠山俊也
代表取締役副社長	松尾直樹	取締役	池田敬造
常務取締役	鈴木 譲	常勤監査役	大内正樹
常務取締役	皆川忠志	監査役	羽鳥勝彦
取締役	木村廣志	監査役	河野 敬
取締役	大坂 貢	監査役	猪鼻正彦
取締役	磯野文久		

※1. 畠山俊也および池田敬造の両氏は、社外取締役であります。  
 ※2. 河野敬および猪鼻正彦の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

### ● サクサグループ(12社) (平成26年6月27日現在)



## 株式の状況

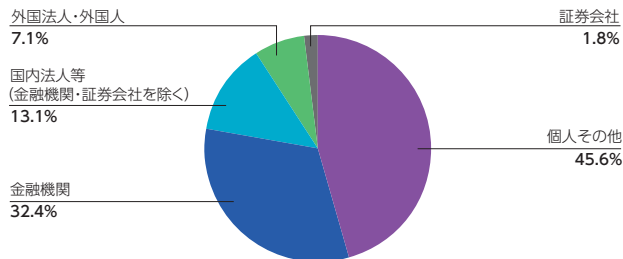
- 発行可能株式総数 ..... 240,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 62,449,621株
- 株主数 ..... 6,855名

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	8,060千株	13.7%
日本電気株式会社	2,360千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	3.9%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	3.0%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,197千株	2.0%
サクサグループ従業員持株会	1,065千株	1.8%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.6%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.5%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	812千株	1.3%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	790千株	1.3%

- ※1. 当社は、自己株式3,666千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

## 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	<a href="http://www.saxa.co.jp/">http://www.saxa.co.jp/</a> ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちの場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部	
電話お問合せ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝祭日を除く 9:00~17:00)	
	お取引の証券会社等になります。	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	みずほ証券 本店・全国各支店 および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 みずほ銀行	本店および全国各支店 本店および全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。  特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。	



**UD**  
FONT

